

●2014年7月

- 2014/07/30 出荷用と自宅用を区別, ネパール農家も
- 2014/07/29 ネパールの農薬汚染, 中国が報道
- 2014/07/27 半裸女洗車からチベット鉄道まで
- 2014/07/25 韓国以下の生活水準, 日本
- 2014/07/24 中国の周辺外交
- 2014/07/20 3 teenagers arrested for hurling eggs at Nepalese student
- 2014/07/18 新舟 60, レーダー故障
- 2014/07/17 パラス元皇太子, 大麻所持で逮捕
- 2014/07/16 UML 議長にオリ, 書記長にポカレル選出
- 2014/07/13 ウラン鉱脈発見, ムスタンで
- 2014/07/11 中国製「運 12e」, ネパール航空へ引き渡し
- 2014/07/10 京都の米軍基地(52): 福島質問への政府答弁
- 2014/07/09 京都の米軍基地(51): 関所の監視カメラ
- 2014/07/05 集団的自衛権閣議決定: ネパールの報道(2)
- 2014/07/03 京都の米軍基地(50): 質問趣意書, 福島みずほ参議院議員
- 2014/07/02 集団的自衛権閣議決定, ネパールの報道(1)

出荷用と自宅用を区別, ネパール農家も

昨日, [日本農家は出荷用と自宅用を区別して栽培していた](#)と書いたが, 事情はネパールでも同じだ。

「商品野菜を栽培している農家のほとんどは, 農地を二つに分けている——出荷用農地では, 殺虫殺菌剤, ホルモン剤, 化学肥料を使って野菜を作り, 自家用農地では, 有機肥料だけを使い, 農薬は使わない。」

(Himalayan,22Jul)

そう, 商品農作物生産の資本主義農業においては, 自家用/出荷用別栽培は, どこでも見られる, きわめて合理的な農作物生産方式なのだ。日本だけでなく, ネパールでも。そして, おそらくは農産物輸出大国の某国, 某々国においても。だから——

「このようなことをする農家は不道徳であり, 全くのペテン師であり, 消費者の健康をもてあそぶものだ。」

(Ibid)

などと, 農家を非難してみても, 全くの的外れ, お門違いだ。農家には, 何の非もない。農薬まみれ野菜は, ネパールの近代的消費者自身が暗黙裏に求めたものに他ならないから。

農薬汚染が高いのは, カトマンズ, バクタプル, カブレ, ダディン, チトワン, バラなどの都市近郊農地だ。その結果, 当然, 都市部の野菜の残留農薬が高くなる。

カトマンズ野菜市場では, トマト, ナス, カリフラワー, トウガラシ, ササゲ豆, ヒョウタン, ジャガイモなどの野菜類の 45%から残留農薬が検出され, 特にササゲ豆の場合, なんと 97.17%から検出されたそうだと (ekantipur,29 Jul)。

あるいは、ネパール農家は、DDT など 15 種類の禁止農薬を使用しているとか、カリマティ市場のほぼすべての野菜から WHO 許容基準の 3 倍の残留農薬が検出されたといった、恐ろしい報道もある (Himalayan, 22 Jul)。

しかし、繰り返すが、これは農家の責任ではない。「商品」農作物を求めたのは消費者自身である。だから、ネパールでも、こう言うべきだ――

安全な農作物が食いたければ、農業労働に見合うだけのカネをだせ！
カネも出さず、農薬規制しても、誰がそんなもの守るものか！



■資本主義農業(写真：philosophers-stone より)

谷川昌幸(C)

2014/07/30 at 13:53

カテゴリー: [経済](#)

Tagged with [農薬](#), [農業](#), [商品](#)

ネパールの農薬汚染，中国が報道

1. ネパール野菜の高濃度残留農薬

中国の新華社通信記事(7月18日)によれば、カトマンズの野菜の14%から、WHO基準を大幅に超える農薬が検出された。胡椒、ニガウリ、ほうれん草、ジャガイモ、トマト、タマネギなど。検査したのはネパール農業開発省。

農業開発省のJM.カナル氏は、新華社記者インタビューに、「ネパールの農業が化学製品依存になってしまったのは、実に残念だ。……消費者を守るため、厳しい対策をとることにした」と語っている。

ネパール農作物の農薬汚染については、以前から問題にされていた。農薬輸入はこの10年で7倍になっている (Gorkhapatra, 1 Jan. 2014)。しかし、むろんネパール全土が農薬汚染されているわけではない。農薬多用は、伝統農法の地方貧農ではなく、消費者向け商品農作物を作っている、多少とも資本主義化した農家だ。生活の都市化と、農業の近代化・資本主義化が、農薬まみれ農作物を生み出しているのだ。



■ネパール都市近郊農業

2. 自然離反の農業近代化

農業の近代化・資本主義化は、一般に、農業の自然からの離反、化学肥料・農薬依存をもたらす。この自明の理をわきまえず、上から目線で、優越感にむせびながら、たとえば「上海福喜食品」事件など、中国の食品問題を一方的に非難するのは、天に唾するもの、小国の小児、みっともないことこの上なし。

論より証拠、八百屋やスーパーの生鮮食品売り場にいけば、品定めに余念がない多くの買い物客を目にすることができる。品定めの基準は、(1)安い、(2)大きくて形が良い、(3)新鮮で美しい。（「味」はむろん重要だが、これは食った後でなければ、分からない）。

これが農作物の「商品」としての評価基準であることに間違いはなく、そうであるなら、商品生産者たる農家が、その基準に合わせて、「商品」としての農作物を作るのは当然ではないか。

3. 自業自得の日本消費者

かつて高度経済成長期の日本では、すべてとはいわないが相当数の農家が、出荷用と自宅用を分けて栽培していた。出荷用には、化学肥料をたっぷり施し、農薬をふりかけ、大きくて美しい「商品」としての農作物を作った。自宅用は、有機肥料で、無農薬か低農薬で育てた。当然、自宅用は、形が悪く、虫に食われ、切ると中から青虫などが出てくることもあった。それでも農家は、自宅用には、そうした農作物を作り食べていた。安全だと知っていたから。

近くの町の人々も、日々の農作業が見えるので、できるだけ自然な農作物を買って食べようとし、農家もそれが分かっているので、近くの人々には自家用かそれに近い農作物を売るようにしていた。

が、遠くの都市住民の健康のことなど、知ったことではない。都市住民は、農作業のことには関心がなく、目の前の「商品」としての農作物をただ買いたたくだけ。農家としては、消費者の品定め3基準に合わせなければ、農作物は売れない。かくして、日本の農業も化学肥料・農薬依存となった。これは全部、消費者自身が求めたこと。

4. 食の安全はカネで買え

食の安全をいうなら、カネをだせ！ 形が悪くても、虫食いでも、青虫が出てきても、文句言うな！
そもそも、日本企業は、中国産の食材・食品に、いくらカネを払っているのか？ タイから、鶏肉やエビをいくらで仕入れているのか？ 安全なものが食べたいなら、自分の目の届く身近なところで作られる食材・食品を、適正なカネで買い、食べるべきだ。

食材・食品を単なる「商品」と見なして買いたたく資本主義社会の「根無し草」市民なら、多少の農薬、多少の異物、多少の賞味期限切れなど、我慢せよ。すぐ死ぬわけではないのだから。

Past Present Future by Divakar Chhetri



■農薬汚染風刺画(Nepali Times, 2014-07-28)

谷川昌幸(C)

2014/07/29 at 10:50

カテゴリー: [経済](#)

Tagged with [農薬](#), [農業](#), [商品作物](#)

半裸女洗車からチベット鉄道まで

現代資本主義が、二宮尊徳型勤勉でも、ピューリタン型天職でもなく、タブーなき「欲望の体系」だとするならば、共産党以外のタブーなきがごとき中国こそが、21世紀世界経済の覇者となるであろう。

People's Daily,China @PDChina - 40分

Pay \$140, have your car washed by bikini beauties. Controversial service lasted only 1day in a Beijing service center



People's Daily,China @PDChina - 10時間

China aims to expand highways in Tibet to 110,000 km and railways to 1,300 km by 2020, more airports: MOT guideline.



■人民日報ツイッター [半裸女洗車](#) / [チベット鉄道](#)

谷川昌幸(C)

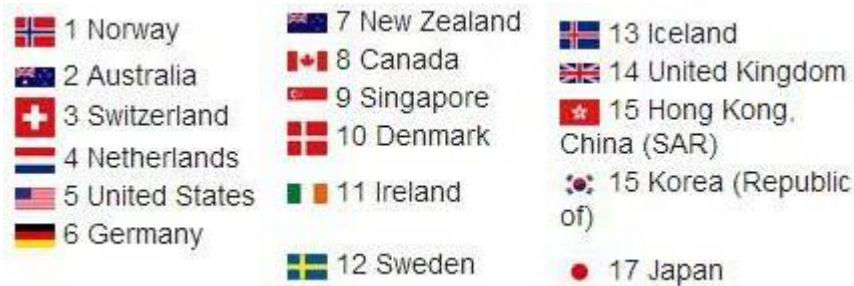
2014/07/27 at 10:26

カテゴリー: [経済](#), [中国](#)

Tagged with [資本主義](#), [天職](#), [欲望の体系](#)

韓国以下の生活水準, 日本

国民生活の豊かさを比較する方法はいくつかあるが、国際的に最も広く用いられているのが、UNDP(国連開発計画)のHDI(人間開発指数)。その2014年版で、日本は、韓国、香港、シンガポールに追い抜かれ、世界第15位に転落した。(ネパールは145位)



■UNDP-HP

日本のHDIは長らく世界10位以内、最上位国グループに属していた。韓国、香港、シンガポールは22～40位くらい(1980～2004年)。ところが、日本は急速に没落し、これらアジア3カ国に追い抜かれてしまったのだ。

中国は91位なので、まだかなりの差があるが、学術、商工業とも発展は目覚ましく、日本が抜かれるのもそう遠くはあるまい。

ここで、最近の目に余る嫌韓、嫌中への疑問が氷解した。日本人は韓国や中国がねたましいのだ。屈折した心理。自信喪失、劣等感の裏返しとしての、空威張り嫌韓、嫌中。実にあさましい。

そもそも日本の戦後高度経済成長が異常であったのであり、いまは、そのバブルがはじけ、生活が正常に戻り始めたところ。5千万程度の人々が、日本の田畑や山や海の許容範囲内で、質本位のそこそこの生活をする。これこそが、小国日本の正常な姿だ。

日本人も、大英帝国衰退期の英国人に習い、虚栄の終焉を肅々と受け容れるべきだ。それこそが、「やせ我慢」の美学であり、小国日本の堅持すべき矜持であろう。

谷川昌幸(C)

2014/07/25 at 12:26

カテゴリー: [経済](#)

Tagged with [やせ我慢](#), [HDI](#), [嫌韓](#), [嫌中](#), [小国](#), [人間開発指数](#)

中国の周辺外交

中央公論 8月号に、川島真「ネパールから見た中国の『周辺外交』」が掲載されている。それによると、中国の対ネパール政策は、「相対的に慎重で控え目」であり、「影響力は限定的」だという。

たしかにそうだが、問題は、近年の変化の量と質にあるのではないか？ 中国の近年の経済進出はすさまじい。日用雑貨以外にも、たとえば、24日付ロイターによれば、中国は2020年までに、ネパール国境と、ブータン/インド国境まで、青蔵鉄道（チベット鉄道）を延伸する計画だ。

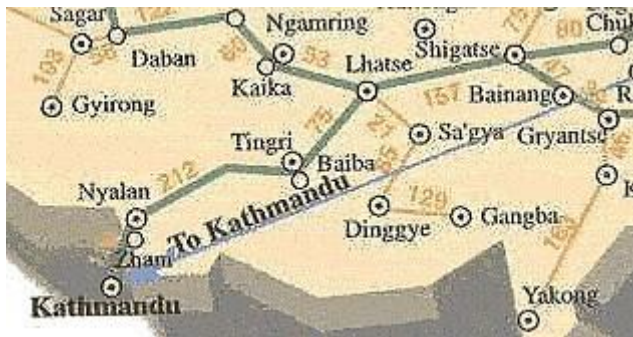
また、ネパール水資源でも、中国はインドと激突しそうだ。近年のこのような激変をどう評価すべきか？

ネパールはインド勢力圏であり、チベット問題への介入さえ防止されれば、それ以上は関与しないという伝統的対ネパール政策を、中国は継続しているのかどうか？ ここが、よくわからない。



■エネルギー省

【追加 2014-7-25】 (Republica, 2014-7-24)



(1)青蔵鉄道シガツェ線, 8月営業開始。

(2)シガツェ～Kuti/Kerung(ネパール国境), シガツェ～Yadung(インド/ブータン国境), 2020年延伸予定

谷川昌幸(C)

2014/07/24 at 20:02

カテゴリー: [インド](#), [経済](#), [外交](#), [中国](#)

Tagged with [シガツェ](#), [チベット鉄道](#), [チベット問題](#), [青蔵鉄道](#), [Yadung](#), [水資源](#)

3 teenagers arrested for hurling eggs at Nepalese student

TOSU, Saga — Three teenagers have been arrested for allegedly hurling eggs at a Nepalese student studying at a Japanese–language school here earlier this month, police said.

The three youths....stand accused of assault. Officials of the Japanese–language school say 19 of its students from Nepal, Vietnam and Sri Lanka, have been targeted in similar attacks since December last year....(May 27,2014, Mainichi Japan)

これは、5月20日夜のネパール人留学生襲撃事件を伝える英字新聞だ。生々しい。

佐賀県鳥栖市では、昨年末頃から外国人留学生に生卵を投げつけたり、マヨネーズをかけたり、さらにはエアガンで撃ったりする事件が、続発していた。被害学生は、ネパール人、ベトナム人、スリランカ人ら19人で、なかには国籍を確認してから襲撃した事件もあったというから、悪質だ。

鳥栖署は5月26日、ネパール人留学生襲撃容疑で少年3人(18-19歳)を逮捕し、6月13日、佐賀地裁に送致した。

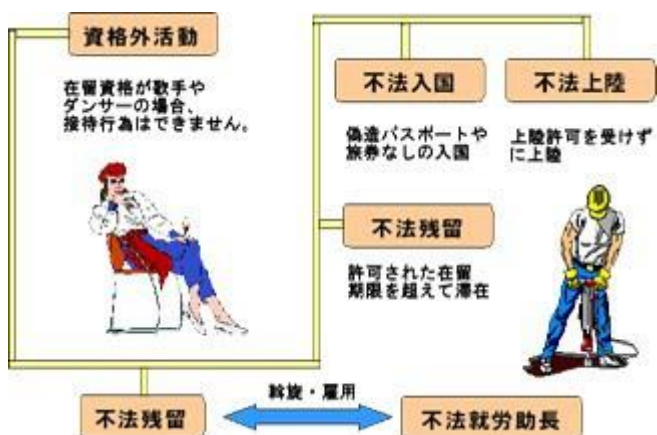
このアジア人留学生襲撃事件の背後には、嫌韓、嫌中などアジア人蔑視、アジア人差別の風潮の蔓延があると見てよいであろう。自分もアジア人のくせに、日本人は別格、「名誉白人」らしい。

この風潮を暗黙裏に応援しているのが「外国人実習(研修)制度」。外国人を安上がりの使い捨て労働者として酷使し、しかも国内に居着かれると困るので数年で国外に追い返す。

日本政府が公正な扱いをしようとしないので、当然、いわゆる「不法就労」が増える。そこで、たとえば、このような警告が出されることになる。

外国人の不正就労防止にご協力ください [佐賀県警]

不法就労活動とは 在留資格を持って在留する外国人が資格外活動許可を得ることなく行う活動です。……



むろん佐賀県警は、規則に則り善意で作成し掲示しているのだろうが、情緒的排外主義の高まりの中で、このような広報が愛国青少年の愛国心を刺激することは避けられまい。

また、鳥栖市の方も、どこまで本気で外国人差別問題と取り組むつもりか疑わしい。ネパール人襲撃事件を受け作成され配布されたとされるチラシが、これ。(⇒[原本 pdf](#))



【参照】毎日 5月27日；朝日デジタル 6月11日；朝日 7月19日；読売 6月14日；西日本新聞 5月28日，6月17日；佐賀新聞 7月15日

谷川昌幸(C)

2014/07/20 at 18:55

カテゴリー: [経済](#), [人権](#)

Tagged with [研修労働](#), [名誉白人](#), [実習労働](#), [排外主義](#), [人種差別](#)

新舟 60，レーダー故障

中国プレゼントの新舟 60 (MA60)が 7月 15日，レーダー故障で飛べなくなった。方角が分からなくなり，管制との交信も不能となったというから，恐ろしい(ekantipur, 16 Jul)。

6月 30日の[ビラトナガルでの鳥衝突事故](#)では，プロペラが破損し交換せざるをえなかったそうだから，これも当初の報道から想像する以上に危険な状況だったわけだ。

新舟 60は，新型機というわけではない。その割には故障が多い。ネパールの技術者は優秀なので，ネパール流に工夫し，いずれ自家薬籠中のものとするだろうが，それまでは少々心配である。



ミャンマー-MA60 事故(2013 年, planecrashes.org)

谷川昌幸(C)

2014/07/18 at 15:58

カテゴリー: [旅行](#), [中国](#)

パラス元皇太子，大麻所持で逮捕

パラス元皇太子が7月12日，バンコクで，大麻12g(6g包×2)所持容疑で逮捕された。前回，2012年10月に続き，2回目。

大麻(マリファナ)は，酒より危険ではないという説もあり，ベルギー，オランダ，アメリカ(一部の州)など，容認拡大の流れのようだが，タイでは重罪だ。

パラス皇太子の場合，麻薬取締法(1979年)の150万パーツ以下の罰金，15年以下の拘禁の刑罰規定に該当しそうだという。ただし，「元皇太子」でもあり，どうなるかまだ不明。

ネパールはいま新憲法制定直前。それなのに，元皇太子がこの行状では，王政復古はますます絶望的と見ざるをえない。

▼2004年訪日時のパラス皇太子夫妻



Their Royal Highnesses the Crown Prince and Crown Princess with His Imperial Majesties Emperor Akihito and Empress Michiko of Japan at the Imperial Palace, Wednesday. ID Photo



His Royal Highness Crown Prince Paras Bir Bikram Shah Dev with president of Japan–Nepal Society in Tokyo, Sunday. ID Photo (Rising Nepal, Jul.11)

2014/07/17 at 17:08

カテゴリー: [国王](#)

Tagged with [パラス](#), [マリファナ](#), [皇太子](#), [Paras](#), [大麻](#), [天皇](#)

UML 議長にオリ，書記長にポカレル選出

統一共産党（CPN-UML）は第9回党大会において，議長に KP. オリ氏，書記長にポカレル氏を選出した。他の選出党役員は，下記の通り。オリ派は赤字，MK. ネパール派は黒字。

議長 **KP Sharma Oli**



केपी शर्मा ओली

副議長 **Bam Dev Gautam**, Bhim Rawal, **Bidhya Bhandari**, Astha Laxmi Shakya, Yubaraj Gyawali



書記長 **Ishwar Pokharel**

इश्वर पोखरेल

副書記長 **Bishnu Paudel**, Ghanashyam Bhusal

書記 : Gokarna Bista, Yogesh Bhattarai, Bhim Acharya, **Prithivi Subba Gurung**, **Pradeep Gyawali**



谷川昌幸(C)

2014/07/16 at 19:24

カテゴリー: [政党](#)

Tagged with [CPN-UML](#), [統一共産党](#), [L.Pokharel](#), [KP Oli](#)

ウラン鉱脈発見，ムスタンで

ネパール鉱山地質局 (DoMG)は7月2日，アッパー・ムスタンで有望なウラン鉱脈を発見した，と発表した (同局 HP ; 新華社7月9日，Hindustan Times, 10 Jun, etc)。

ネパールのウラン探査は20年前から行われており，これまでに25カ所でウラン鉱の存在が確認された。しかし，探査技術と資金の不足で，調査は進まなかった。

今回の調査は，カグベニ～ローマンタンの100平方キロで実施され，10km×3kmの良質のウラン鉱脈を発見したという。調査はムスタンの他の地域へも拡大される。



■A=カグベニ，B=ローマンタン(GreatHimalayaTrail)／鉱物分布図(DoMG)

ネパール政府は、もしムスタンのウラン鉱が採掘可能なものなら、外国援助を得て開発し、「イエローケーキ(ウラン精鉱)」に加工して輸出する予定。イエローケーキは、\$100/kg くらいで取り引きされているので、これが実現すれば、ネパールは大きな開発利益が得られるという。

しかし、開発資源はウランであり、しかもムスタンはチベット国境ちかく。政治的に微妙であることはいうまでもない。今回のウラン鉱脈発見発表をいち早く報道したのが新華社と Hindustan Times であったことを見ても、それは明らかだ。どこの援助で開発し、どこに販売するのか？

これまで、資源途上国は、ほとんど例外なく、利権をめぐる泥沼の紛争に苦しめられてきた。ウラン鉱脈が有望であればあるほど、採掘の可否を手始めに、さまざま難しい判断を、ネパールは迫られることになるであろう。



■地質図 (DoMG)

谷川昌幸(C)

2014/07/13 at 12:34

カテゴリー: [インド](#), [経済](#), [中国](#)

Tagged with [イエローケーキ](#), [ウラン](#), [カグベニ](#), [ムスタン](#), [ローマントン](#), [鉱山](#)

中国製「運 12e」，ネパール航空へ引き渡し

ハルビン飛機工業公司製「運 12e(Y12e)」が7月8日、ハルビンでネパール航空 (NAC)に引き渡された。ネパールへは25日、飛来予定。

このY12eは、さきの「新舟 60(MA60)」と同様、中国政府からのプレゼント。そのかわり、NACはY12eを3機、MA60を1機、低利融資で購入することになっている。

Y12型機は、途上国にかなり売れている。航空機製造の分野でも、中国は、軍民両用の小型機を先兵に、世界市場に進出していくのではないだろうか。

【参照】

▼中国戦闘機の勢い、ドバイ航空ショーで露を圧倒

中国航空工業集団公司の展示は大きな注目を集めた。最新の単座式全天候型多用途戦闘機「梟竜（FC-1）」、ジェット練習機「雄鷹（K-8 カラルコム）」、高級練習機「L-15 狩鷹（ファルコン）」、練習機「山鷹（FTC-2000）」、ターボプロップ・リージョナル機「新舟 60」、汎用輸送機「運-12F」、民用ヘリ「AC312」の他、海外の航空ショーで初披露された無人ヘリコプター「U8E」などのモデル機が展示された。……多くの見学者が訪れ、謎のベールに包まれていた中国の航空機メーカーに高い関心が寄せられた。

（中国網日本語版 2013 年 11 月 20 日）

▼Y12 型機使用国

Military operators: Cambodia, People's Republic of China, Eritrea, Guyana, Iran, Kenya, Mauritania, Myanmar, Namibia, Pakistan, Paraguay, Peru, Sri Lanka, Tanzania, Uganda, Zambia

Governmental operators: People's Republic of China, Seychelles

Civil operators: Bangladesh, People's Republic of China, Colombia, Democratic Republic of the Congo, Republic of the Congo, Indonesia, Kiribati, Laos, Malaysia, Mongolia, Nepal, Philippines, Tonga, Uganda, Vanuatu(WIKI, 2014-07-11)

▼尖閣接近の Y12



（防衛省 [共同 2012/12/22] ）

谷川昌幸(C)

2014/07/11 at 16:56

カテゴリー: [経済](#), [軍事](#), [中国](#)

Tagged with [ネパール航空](#), [航空機産業](#), [MA60](#), [Y12](#)

京都の米軍基地(52) : 福島質問への政府答弁

安倍首相が、福島みずほ参議院議員提出の[質問書 \(6月20日\)](#) に対する答弁書(6月27日)を提出した。要点は以下の通り。

「Xバンド・レーダー・システムの我が国への追加配備は、我が国に飛来する弾道ミサイル情報の確度及び同時追尾能力を更に向上させ、弾道ミサイル防衛により万全を期する必要性を踏まえたもの」

「弾道ミサイル防衛システムは、……専ら防衛的なものである。……「……軍拡競争を煽ることにつながる」との御指摘は当たらない……。」


「工事着工日の情報を含め、米側との具体的なやり取りについては、相手国との信頼関係もあり、お答えを差し控えたい。」

「Xバンド・レーダー・システムの出力等の詳細については、米軍の能力に関わるものであることから米国は公表しておらず、防衛省としても公表を差し控えている。……必要に応じて同システムの周囲に立入禁止区域を設定する……。」

⇒⇒[答弁書第一七七号](#)，または [Wld-peace 資料室](#)

これが、「国益」やそのための「軍事秘密」の正体だ。米軍とその下働き日本政府には、地元住民の自由や権利を守るつもりは、毛頭ない。辺境丹後は、ワシントンと東京の「安全と利益」のための安上がりの捨て石にしかすぎない。

福島みずほ議員は8日、経ヶ岬の米軍基地建設現場を視察し、9日には府庁でXバンドレーダー設置反対を申し入れている。

 **福島みずほ**
@mizuho_fukushima

京都府の京丹後市に作られようとしているXバンドレーダーの建設現場です。



■[福島議員ツイッター](#)

谷川昌幸(C)

2014/07/10 at 11:09

カテゴリ: [軍事](#), [平和](#)

Tagged with [ミサイル防衛](#), [特定秘密](#), [米軍](#), [経ヶ岬](#), [Xバンドレーダー](#), [国益](#), [京丹後](#)

京都の米軍基地(51)：関所の監視カメラ

京丹後市の出入口=関所の一つに、監視カメラらしきものが設置されている。監視カメラ(スパイ盗撮カメラ)には詳しくないので、ひょっとすると違うかもしれないが、少なくとも外見からは監視カメラのように見える。



■設置監視カメラ／カメラ部分



1. 監視の可能性の不気味さ

カメラ付近には、説明も標識も何もない。設置主体、設置目的不明。どこかにあるかもしれないが、ガードレールを乗り越え敷地内に入ると、侵入者とされ、頭上のカメラでバッチリ撮られ、逮捕されてしまうだろう。盗撮カメラを盗撮して逮捕されては、号泣兵庫県議以上にみっともない。

設置場所は峠なので、降雨・積雪監視用かもしないが、そうしたことは、たいした問題ではない。設置目的が何であれ、盗撮された映像は、イザというとき、動かぬ証拠として何にでも利用できる。事実、おびただしい監視映像が、そのように利用され始めている。

この峠の監視カメラは、電話線で通信網に接続されているようだ（赤線表示）。つまり、誰かが、どこかで、ここを通るすべての人々の映像を見ている、監視＝盗み見している、ということ。あるいは、いまはそうではなくても、そうしようと思えば、いつでもそうできる状態にあるということ。



■通信網接続の監視カメラ

2. 自衛隊の活発化

そして、さらに注目すべきは、先にも指摘したように、この地域では自衛隊の活動が活発化している。監視カメラを盗撮していたときも、自衛隊ジープが数台通過した。関連事業用のダンプも急増した。



■監視カメラ下通過の自衛隊ジープ

3. 撮ると撃たれる恐れ：米軍

そして、忘れてならないのが、これからは自衛隊だけでなく米軍の車両も通行するという。これは、恐ろしい。

日本は、国民も自衛隊も平和ボケ。国民は何にでも平気でカメラを向ける。自衛隊だって、格好の被写体にすぎない。事実、私も自衛隊ジープを激写したわけだ。自衛隊も自衛隊で、若い女性がカメラを向けたら、ピースサインさえしかねない。実戦経験ゼロ、緊張感なし。

ところが、米軍（や他の軍隊）はそうではない。カメラを向けようものなら、「撃たれる！」と判断し、反射的に撃ちかねない。キャノン（銃）は銃（キャノン）であり、撮る（シュート）は撃つ（シュート）。これは世界の常識だ。

Xバンドレーダー基地（米軍専用施設区域）付近は、特に危険だ。そのことは毎日放送（TBS）「[見えない基地～京丹後・米軍レーダー計画を追う](#)」（2014年1月19日放送）のなかの車力米軍基地レポートの部分を見れば、明らかだ。（参照：[京都の米軍基地（31）：MBS「見えない基地」再放送を](#)；[米軍事会社 日本でも米レーダー警備、特権適用 青森・車力基地](#)）

基地外ではそれほどではないにせよ、不用意にカメラを向けると、連行されたり、すごまれたり、あるいは状況によっては撃たれてしまうかもしれない。それが、撃たれる前に撃たなければ生き残れない軍隊というものだ。実戦や訓練において、米軍の軍人や軍属（戦争引受会社被傭者）は、その戦場での生存術を身体化してしまっている。

米軍は見てはならないもの。見てはならないものを見るかもしれない住民は見張り監視すべきもの。**見る-見られる**のこの逆転こそが、Xバンドレーダー基地のブラックホールの恐ろしさだといってよいであろう。

【参照1】[JR乗降客映像を無断流用 オムロンが「不審行動」解析](#)（7月12日追加）

電子機器大手オムロンが、JR東日本の4駅で撮影した乗降客の映像を、JR東に無断で別の研究に流用していたことが朝日新聞社の調べでわかった。不審行動を割り出すセンサー技術の研究に使い、総務省の外郭団体から約2億5千万円を受け取っていた。……



■オムロンの無断流用の流れ（朝日デジタル7月12日）

【参照2】[撮影禁止：車力と経ヶ岬](#)（7月15日追加）

[京都平和委員会 FBの写真](#)によれば、車力では「当基地又はその活動を写真、図画、グラフ等に記録すること」が禁止されている。このうち、「活動 (activities)」の部分はどのようにでも解釈でき、特に危険。

■車力米軍基地の警告（同FB写真の警告部分）

経ヶ岬米軍基地の場合、独立の「米軍専用施設区域」であり、車力以上に危険な治外法権のブラックホールとなりかねない。もしそうなれば、周辺のもの、吸い込まれ、呑み込まれて行くであろう。基地外からの望遠撮影はむろんのこと、たまたま写ってしまった場合であれ、米兵、あるいはもっと怖い軍属（戦争請負会社）警備員がすっ飛んでくるのではないかと、グアムのように。



2014/07/09 at 10:41

カテゴリー: [軍事](#), [平和](#), [人権](#)

Tagged with [オムロン](#), [監視カメラ](#), [監視社会](#), [米軍基地](#), [経ヶ岬](#), [総務省](#), [車力](#), [Xバンドレーダー](#), [京丹後](#)

集団的自衛権閣議決定：ネパールの報道(2)

集団的自衛権閣議決定についてのネパールの報道は、AFP、Reuters、BBC など欧米系配信と、新華社、中国日報など中国系配信がほぼ同量だが、目立つのはやはり派手な中国系配信記事だ。ネパールの人々は、中国メディアあるいは中国系専門家の目を通して日本イメージを形成しつつある、とあってよいだろう。

1. 劉強「世界平和を守れ」

ネパールの最有力紙「カトマンズ・ポスト」が7月2日、掲載したのは、劉強「世界平和を守れ」。著者のことはまったく知らないが、中国寄りとはいえ、全体としてはバランスのとれたよい記事だ。要旨は以下の通り。

▼Liu Qiang, "Maintaining world peace," *Kathmandu Post*, 2 Jul. 2014. The author is director of International Security Research Center, affiliated to PLA International Relations University.

米国は、米日安全保障条約が中国領・釣魚島にも適用されると明言しているので、中日武力衝突となれば、米国参戦となり、これはこの地域全体にとって破滅的な結果をもたらすだろう。

現在の中日関係は、120年前の中日戦争(日清戦争)前夜のような。が、当時と現在とでは、状況がまったく異なる。中国は経済的にも軍事的にも強くなり、諸外国とも協力し、地域の安全保障を構築できるようになった。

ところが、日本は、最近、攻撃的な軍事戦略をとり、軍事力を増強する一方、憲法による自衛隊の制約を取り払ってしまった。といっても、平和主義が抑圧されてしまったわけではなく、むしろ支持拡大の兆しさえ見られる。だから、日本国政府は、かつてのような露骨な軍国主義政策をとるわけにもいかないのだ。

米国は、米日安保を唱えつつも、中国との経済関係を強化しており、したがって日本が対中戦争に向かうのを阻止することは間違いない。一線を越えないよう、米国は東京に圧力をかけるであろう。

世界諸国は、積極的安全保障のために協力し、世界平和の実現・維持を図るべきだ。

以上が、劉強氏の記事要旨。イラストでは、米国は日本側にいるが、あいだには断崖がある。なかなか意味深。よい記事だ。



■カトマンズポスト挿絵

2. 中国日報「日本はパンドラの箱を開けた」

もう一つ注目すべきは、ABC テレビ-ネパールの中国日報記事(無署名、7月2日付)。ABC テレビの放送

やネット記事がどの程度の影響力を持っているかはよく分からないが、新華社や中国日報など中国メディア配信記事は、他にもあふれているので、一つの事例として読んでみることにする。要旨は以下の通り。

▼"Japan opens Pandora's box"(China Daily),2 Jul.2014,http://www.abctvnepal.com.np/japan-opens-pandoras-box/#.U7SynPl_ssA

安倍内閣は、集団的自衛権禁止解除と専守防衛撤回により憲法第9条の戦争放棄を骨抜きにしてしまった。冒険主義者・安倍とその右傾自民党の政治的大勝。憲法の改正を迂回し、再解釈することによって、これをやってのけたのだ。

これは、日本の国民と国家に大きな危険をもたらすであろう。日本の安全保障は、格段に複雑でかつ困難なものになった。また、安倍の歴史修正主義も、到底受け入れがたいものだ。

安倍は、平和への「積極的」貢献を唱えているが、実際には、「平和と安全の破壊者」であり、近隣で紛争を引き起こしている。

安倍は、日本を普通の軍隊を持つ普通の国にしようとしているが、いままで、なぜそうできなかったのか、その理由を見ようとはしない。安倍らにみられるような、執拗な歴史修正の企みこそが、普通の国になることを日本に許さなかった、そもそもの理由に他ならないのだ。

安倍は、日本国憲法の再解釈をさらに拡大するかもしれない。集団的自衛権閣議決定は、日本、東アジア、そして世界全体に向け、パンドラの箱を開けることになってしまったのである。

以上が中国日報記事要旨。かなり露骨で中国政府寄りだが、基本的には間違っていない。

3. 「平和」理念の現実性

中国はもともと文の国であり、しかもいまや金と力の国でもある。その中国が、「平和」の旗印を掲げ、世界世論形成に本気で取り組み始めたら、日本など到底太刀打ちできはしない。政治においては、建前は本音以上にものをいう。

日本国民にとっては、ここが頑張りどころ、憲法第9条の非武装・非戦を死守し、「平和」の旗印を中国以上に高く掲げ続けるのが、実際には現実的であり、賢明である。「平和」の理念を堅持する**真の現実主義**に立つ勇気がもてず、空威張りの「**観念的現実主義**」に酔いしれ猪突猛進、無思慮に「パンドラの箱」を開けてしまえば、オシマイ。「剣をとる者はみな、剣で滅びる。」

谷川昌幸(C)

2014/07/05 at 16:22

カテゴリー: [軍事](#), [平和](#), [憲法](#)

Tagged with [ジャーナリズム](#), [集団的自衛権](#), [安倍晋三](#), [平和主義](#)

京都の米軍基地(50)：質問趣意書，福島みずほ参議院議員

日米両政府は、昨年二月、京都府京丹後市の宇川地区に米軍のXバンドレーダーを追加配備することで合意

した。このレーダー及び関連施設の設置のために、宇川地区内に航空自衛隊経ヶ岬分屯基地に隣接して、新たな在日米軍基地（米軍経ヶ岬通信所）を建設しようとしており、本年五月二十七日には建設工事が着工された。集団的自衛権の行使が政府において議論されているなか、住民の間でこの基地の運用に大きな不安が生じている。

この米軍Xバンドレーダーの追加配備と新たな在日米軍基地の建設について、以下、質問する。……

⇒⇒[米軍Xバンドレーダーの追加配備に関する質問主意書](#)（平成二十六年六月二十日），または [wld-peace 資料室](#)

谷川昌幸(C)

2014/07/03 at 21:19

カテゴリー: [軍事](#), [平和](#)

Tagged with [米軍基地](#), [経ヶ岬](#), [Xバンドレーダー](#), [宇川](#), [日米地位協定](#), [京丹後](#)

集団的自衛権閣議決定，ネパールの報道(1)

安倍内閣が7月1日夕，集団的自衛権の行使を可能とする閣議決定を行った。憲法第2章第9条の明白な「解釈改憲」である。

この閣議決定は夕方であったのでネパール・メディアはまだほとんど報道していないが，注目すべきは，BBC 電とはいえ，真っ先に報道したのが[ゴルカパトラ（ライジング・ネパール）](#)だったこと。いつもは亀のように遅いのに，こうした情報はやけに早い。

ネパール関係ブログでは，野口健氏の発言が注目される。

参考のため，日本の政府開発援助（ODA）の推移を紹介しておく。このODAについても，安倍内閣は外国への軍事援助に使うことを検討している。もしこれが認められたなら，武器輸出三原則も緩和されたので，日本ODAが世界の栄誉を奪還するのも夢ではあるまい。

そして，もし日本の高性能「防衛機器」をODAによりネパールに援助できるなら，日本の対ネパール外交が中国の後塵を拝するようなこともなくなるであろう。

図表 0-3 主要DAC加盟国の政府開発援助実績の推移



■2012年版 ODA 白書

谷川昌幸(C)

2014/07/02 at 11:48

カテゴリー: [軍事](#), [外交](#), [平和](#), [憲法](#)

Tagged with [自衛隊](#), [集団的自衛権](#), [ODA](#), [平和貢献](#), [戦争放棄](#)